

調査期間 2015年5月1日～継続中
所在地 伊勢原市上粕屋
時代 近世、中世、奈良・平安、古墳、
縄文
調査原因 国土交通省による厚木秦野道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅から北西約3kmにある台地上と東側に位置する谷戸平坦部に立地する。



主な調査成果

発掘調査は台地東側の谷戸平坦部で行っています。これまでの調査で中・近世、古墳時代、縄文時代の遺構・遺物や旧石器時代の遺物、また旧流路などを確認しています。中世の所産と考えられる2号溝状遺構は幅6～7m、深さ2m前後で、調査区を縦断する規模の大きい遺構です。自然の流路を利用して、付近の耕作地に水を供給する用水路の役割を併せ持たせたものと考えられます。

縄文時代の落とし穴と考えられる4号土坑の底には2つの穴がありました。この穴は落とし穴に落ちた動物が動きづらくなるように杭状の棒を2本突き刺していたものと思われます。



近世面全景（北から）



2号溝状遺構全景（北東から）



落とし穴完掘状況（東から）



出土遺物 有舌尖頭器